

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

| 確認年月日    | 令和5年5月19日(金)  | 確認目的   | 使用前検査の状況  |
|----------|---|--|---|
| 確認箇所     | 5・6号機敷地護岸ヤード(放水立坑(上流水槽)、移送設備(緊急遮断弁))  |  |   |
| 確認設備     | <input type="checkbox"/> 測定・確認用設備   | <input checked="" type="checkbox"/> 移送設備   | <input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備<br><input checked="" type="checkbox"/> その他 |
| 確認<br>結果 | <p>希釈放出設備である放水立坑(上流水槽)において、東京電力が原子力規制庁による使用前検査(耐圧・漏えい検査)を受けていることから、状況を確認した。</p> <p>また、移送設備に設置されている緊急遮断弁のシーケンス検査(海水配管ヘッダ付近)が行われていることから、状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放水立坑(上流水槽)における耐圧・漏えい検査は満水位まで上流水槽に海水を満たし、24時間以上経過したのち、その水位低下が5mm以内に収まっているかどうかを確認するという手順で進められた。水位は水槽に設置された金尺で測定し、昨日の検査開始水位からの水位低下は0mmであると確認された。(写真1)</li> <li>水位を測定した金尺が校正されていることを管理番号により確認していた。(写真2)</li> <li>緊急遮断弁のシーケンス検査では、免震重要棟からの緊急停止信号によって、緊急遮断弁が基準時間内に「開」から「閉」に動作するかどうかを確認するという手順で進められた。</li> <li>ストップウォッチを用い、緊急遮断弁(海水配管ヘッダ付近)が基準時間内に「閉」動作するかどうかについて検査が実施された。計5回の動作確認が行われ、いずれも基準時間内に緊急遮断弁が動作していた。(写真3)</li> </ul> |  |   |
|          |    |  |   |
|          | (写真1-1) 上流水槽内部の状況<br>(海水で水張りされている様子)  |  | (写真1-2) 上流水槽内部の状況<br>(金尺が設置されている状況)   |
|          |    |  |   |
|          | (写真2) 金尺の管理番号を確認している様子  |  | (写真3) 緊急遮断弁の検査の状況   |